

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年2月9日 (2017.2.9)

【公開番号】特開2015-159895(P2015-159895A)

【公開日】平成27年9月7日 (2015.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2015-056

【出願番号】特願2014-35725(P2014-35725)

【国際特許分類】

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/12 (2015.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/28 (2015.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 27/00 V

A 6 1 K 35/12

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 L 27/00 Q

A 6 1 L 27/00 Z

A 6 1 K 35/28

A 6 1 P 43/00 1 0 7

A 6 1 P 25/28

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月21日 (2016.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

生体の間葉系組織又は培養間葉系細胞から分離された S S E A - 3 陽性の多能性幹細胞を含む、脳梗塞を治療するための細胞製剤。

【請求項 2】

脳梗塞後の後遺症を予防及び / 又は治療するための、請求項 1 に記載の細胞製剤。

【請求項 3】

外部ストレス刺激により S S E A - 3 陽性の多能性幹細胞が濃縮された細胞画分を含む、請求項 1 又は 2 に記載の細胞製剤。

【請求項 4】

前記多能性幹細胞が、C D 1 0 5 陽性である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤。

【請求項 5】

前記多能性幹細胞が、C D 1 1 7 陰性及び C D 1 4 6 陰性である、請求項 1 ~ 4 のい

れか 1 項に記載の細胞製剤。

【請求項 6】

前記多能性幹細胞が、C D 1 1 7 陰性、C D 1 4 6 陰性、N G 2 陰性、C D 3 4 陰性、v W F 陰性、及び C D 2 7 1 陰性である、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤。

【請求項 7】

前記多能性幹細胞が、C D 3 4 陰性、C D 1 1 7 陰性、C D 1 4 6 陰性、C D 2 7 1 陰性、N G 2 陰性、v W F 陰性、S o x 1 0 陰性、S n a i 1 陰性、S l u g 陰性、T y r p 1 陰性、及び D c t 陰性である、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤。

【請求項 8】

前記多能性幹細胞が、以下の性質の全てを有する多能性幹細胞である、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤：

- (i) テロメラーゼ活性が低いか又は無い；
- (i i) 三胚葉のいずれの胚葉の細胞に分化する能力を持つ；
- (i i i) 腫瘍性増殖を示さない；及び
- (i v) セルフリニューアル能を持つ。

【請求項 9】

前記多能性幹細胞が、神経細胞、グリア細胞、血管内皮細胞、及び / 又はミクログリアからなる群から選択される 1 つ以上の細胞に分化する能力を有する、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤。